

いざみ

开

蛍 待つ

もう、何度目の波でしょうか。清原さんちの海松子さんにはほとほと感心して、また、「枕草子」にはまっています。

五感を思う存分働かせて季節を味わい、暮らしの楽しみ方を新めて指南されているようです。物の見方が実に細やかで、研ぎ澄まされた感覚は、近頃の私たちが失いかけていることのひとつかも知れません。

「時」に急かされてお座なりになってしまっている自分の感性を恨めしく、情なく思ったりします。

「にくきもの」の項など、独特のエスプリとウイット、上質なアイロニーの塩胡椒が効いていて、思わず「うふっ」と一人笑いしてしまい、千年もの古人なのに、隣の息遣いを感じます。

「楽天」の野村監督のポヤキともだぶったりして（さもありません・・・）なんて共感している自分を笑ってしまいます。（アラ、何を書いているんでしたっけ）そう、冒頭の四季の描写も観点もなかなかユニークで、春はあけぼの・・・「夏は夜よ。月の明るいのは、勿論すてき。でもね、それだけじゃなくてよ。夏は闇だっているのよ。蛍が闇をきらめかせて、いっぱい飛んでいる～でも多いばかりがいいんじゃないの。少しばかりの一匹や二匹がぼうっと光って辺りを飛んでいくのもまたいいのよ。雨が降ってたっていいのよ」（月無し、蛍も一匹、二匹、おまけにそぼ降る雨、それだって素敵なの・・・）

絵を描いているような清少納言のセンスが私にも言わせて貰えば「いとをかし」なのです。

そんな蛍の飛ぶ宵闇を連想して、先日、星山放水路脇の通称「ドンドン」へ行ってみました。蛍が出るには時期尚早でしたが、「鳴沢の滝」の立派な標石、ほとばしる滝の水しぶきは夏の息吹き。田植えのための大量の水の流用で、風情ある水車は動きを止めていました。「ホ・タル・の・里」の案内文字もスタンバイOKでしたが、「ドンドン」のイメージは変わりました。

富士宮は水の町、民家の中に当たり前のように入り込んできた蛍を賞でた記憶も遠いものになってしまいました。

人の手で守ってやらなければ生きられない環境になってしまいましたが、それでも夏が来れば「大中里でホタルが飛び始めたよ。」「猪之頭の中学でホタルの観賞会があるってさあ」「田貴湖のホタルはそりゃあまあ幻想的だよ～」と便りが届くのも真近かです。

真っ昼間訪れた、地元の人たちの肝入りで美しく整備された「ドンドン」からの便りは事の外待ち遠しい今年です。 K・H



ほ・た・る・の・里「ドンドン」

平成21年

富士山まつり開幕

富士山お山開き

6月30日(火)～7月1日(水)

浅間大社・村山浅間神社・富士山表富士宮口五合目

第17回

表富士フォトフェスティバル

期間 平成21年1月1日～11月30日

テーマ 富士宮の祭り・イベントと富士山を撮る

☆浅間大社

6月30日(火) 23時30分

※火鑽神事・禊ぎ・御神火みこし練り

7月1日(水) 9時～10時30分

※大金剛杖パレード

※富士山まつり開幕宣言(市長)

※一番バスの登山者安全祈願

※山岳救助隊紹介

※開山神事(湧水献上)

※開山式典

※英国大使館と大宮小児童の交流会

灯りの大ページェント “表富士燈回廊”

日時 6月27日(土) 18時30分～21時30分

場所 浅間大社周辺

町は素敵な美術館

“まちなかアートギャラリー”

期間 6月25日(木)～7月1日(水)

場所 市内商店街の各店舗

■お問い合わせ&応募先■

富士宮商工会議所 0544-26-3101

☆村山浅間神社

7月1日(水) 11時～12時30分

※富士山入山式

※お山開き式(村山登山道)

※正式参拝

※禊ぎ神事

※護摩焚き神事

※日英親善交流会(12時30分～14時)

☆富士山表富士宮口五合目

7月1日(水) 15時

※富士山お山開き宣言(市長)

※オールコック碑献花

☆浅間大社

7月1日(水) 17時～21時

※開山フェスティバル

※第21回記念“ミス富士山”コンテスト

※富士開山奉納手筒花火

お問い合わせ先

富士山まつり推進委員会

(社)富士宮市観光協会 tel.0544-27-5240

第21回

Miss Fujisan 2009

ミス富士山コンテスト

1年間「富士宮市の顔」として
『富士山の観光大使』として
多方面でご活躍いただく
「明るく健康的で、明朗な女性」
を選出します！

出場者募集！

■最終選考会：7月1日(水) 18:00より

■場所：富士山本宮浅間大社 祈禊殿前

応募締切 6月8日(月)

※詳細は下記へお問い合わせください。

■お問い合わせ先

(社)富士宮市観光協会ミス富士山コンテスト係

tel. 0544-27-5240

この人

豊穰の人 松木圭吾さんご夫妻

——“いずみ”が取り持つ縁かいな——



数多の紆余曲折を経て、富士山西麓朝霧高原の荒野、根原富士丘の開拓を成し遂げ、今日を築いた強志たちのお一人で、不毛の地に根を下ろし、根を張り、花を咲かせ、見事に結実を見た“生き方スペシャリスト”その濃密な博識はローカル紙への投稿でもお馴染み。で松木さん曰く、

〔人の出逢いは縁のうえに成り立っている不思議さを感じています。〕

今日皆さんと顔を合わせる遠因は今から七・八年前に滋賀県の近江八幡市の訪問のバスの中でした。その年の企画では大型バスには訪問者は総勢 26 名でした。席指定も無く自由席で座る事が出来、乗客名簿に根原の私の住所を見た人達の何方かが声をかけてくれたのです。その時「日本三大餅地の富士丘に良ければ遊びに来て下さい」と伝えて置きました。暫くして交流が始まり春と秋の年二回の暖かな励ましの訪問が今日まで続いています。

あの時、もしも私が近江八幡市に風邪でも引いて出かけなければ皆さんに今日こうして楽しく、お会いする機会が生まれなかったかも知れません。天から与えられた縁不思議です。〕

と言う訳で招かれた“いずみ”スタッフは子連れ、孫連れ、果ては孫の友達を引き連れ、友

人を誘い、三階建てのお付き合いを楽しむ間柄になった。

09 年 4 月 29 日のお招きには、小学生の孫たちがエプロンにバンダナ姿も甲斐々々しく、喜々として主から「御幣餅」のレシピを学ぶ。ウルチ米を炊き上げたご飯を“半殺し”（ン？何やら物騒）にして、長い平串に手のひら大の大判型に貼り着けて炭火で焼く。香ばしく焼けたその表面に秘伝(?)の味噌だれをぬりつけてはあぶる。

片や、片手に軍手をはめ(ヌルヌル止め)危なっかしい手付きでニジマス(あまじ)を串刺しして塩を振る。得意満面の額に汗、聞けば「ニジマスなんて触ったことも無い・・・」と舌を出す。次は本格的な餅つき。「ねえねえ、お餅は“皆殺し”なんだって～」キャッキヤとはしゃいで仕事(?)に精を出す。おっかなびっくりのへっぴり腰ながら勢いよく振り下ろす杵に、手返しの大人は大冷や汗。

「アンコ丸め係、ちょっと大き過ぎだヨ。」「ワァ～丸まんないパンク餅だ。」大人・小人入り混じって青空の下、「誰が小食だってエ」・・・

主出身地信州の素朴な郷土食「御幣餅」と富士宮の郷土食としてクローズアップされる「ニジマス」の塩焼き。奇しくも信州と富士宮の食文化のコラボレーションが朝霧の地松木邸で確かに育まれている。

K・H

***** (社)富士宮市観光協会 ～第8回総会を終えて～ *****

昨年の富士宮市の観光は、富士登山客の賑わ



いを初め、富士山の世界文化遺産暫定リスト入りに続いて富士山ナンバーの交付など、富士山の魅力と

共に高まった年であった。

今年は懸案の富士山静岡空港の開港が 21 年 6 月 4 日に決定したことを受けて、観光富士宮の PR と観光客誘致に、ミス富士山が知事の代わりに北海道や九州に行って富士山の魅力発信に参

加するなど、今年の富士山観光について大きな期待をしたい。と当観光協会会長の宮崎さんの挨拶は熱っぽかった。

殊に食文化、文化の香るアートの街、史跡の祭りやお囃子など、富士山と共に歩んだ古い歴史の街、沢山の資源に恵まれた富士宮市の観光を、協会は会員初め皆さんの協力を得て、今年も大勢の人が訪ねてくれる素敵な街にしたいと結ばれた。宮崎会長に続いて大勢の来賓の皆さんから沢山の期待と励ましのお祝辞を頂いて、総会は無事に終わった。

R・K